

技術ノート KGTN 2011122001

現象

[DNS] IE の“インターネット オプション”でプロキシサーバを設定して GG を利用している。接続先の GG サーバの A レコードを変更して接続したところ、旧サーバへ接続される。クライアント上で PING を実行すると、新サーバの応答が得られる。

説明

まず、PING コマンドは TCP/IP でなく ICMP で通信を行い、“web-based ping”というような特殊なツールを除きプロキシサーバを利用しません。つまり、PING コマンドは (GG サーバの) 名前解決をクライアント上で行います。他方、“インターネット オプション”でプロキシサーバが設定された環境では、GG に入力された GG サーバの名前はプロキシサーバ上で解決されます。PING コマンドと GG クライアントでは、名前解決が行われる場所 (リゾルバ) が異なりますので、このような現象が発生します。プロキシサーバが参照しているネームサーバ上で、(GG サーバの) 名前解決がどうなるか確認して下さい。

基本的なことですが、DNS の A レコードを変更しても、その内容が直ちに反映されることはありません。出来る限り早く反映させるにはゾーンや各レコードの TTL (Time-To-Live) に短い値を設定する必要があります。これ以上の細かい内容については、GG のサポートの範囲を超えますので、書籍やインターネット上の情報を参照して下さい。

補足1

DNS の浸透問題 (変更した設定内容が期待通りに直ちに反映されない問題) は、さまざまな要素が絡み理解が難しいのですが、下記のページ (ブログ) で詳しく説明されています。

なぜ「DNS の浸透」は問題視されるのか 1~6

<http://www.geekpage.jp/blog/?id=2011/10/27/1/1>

補足2

東京と大阪に GG サーバがそれぞれ1台あり、障害発生時に 東京→大阪 というように GG サーバを切り替えたいのであれば、IP アドレスとして

<東京の GG サーバの IP アドレス>;<大阪の GG サーバの IP アドレス> *1

を指定することで (2つの IP アドレスをセミコロンで区切って並べる) , 東京の GG サーバへアクセス出来ない時は自動的に大阪の GG サーバへアクセスします。なお、東京の GG サーバへのアクセスが失敗した後に大阪の GG サーバへアクセスしますので、その分ログオンに要する時間が多少長くなります。

*1 GGW3.2.1 と GGH4.0 それぞれで機能します。

補足3

障害発生時に準リアルタイムに GG サーバを切り替えたい場合、DNS の機能を利用して行うことは技術的に無理があります (コストを考えなければ IP Anycast を利用する方法があります)。現実的には、ActiveX クライアントを使用し、専用のウェブページで接続先の IP アドレスを動的に切り替える方法が考えられます。

Last reviewed: Dec 22, 2011
Status: DRAFT
Ref: NONE
Copyright © 2011 kitASP Corporation